

学 会 記 事

§ 平成 24 年第 4 回日本核医学会理事会 議事録

日 時：平成 24 年 10 月 10 日（水）
14 時 00 分～18 時 00 分

場 所：ロイトン札幌 「パールホール C」

出席者

理事長：井上登美夫

理 事：伊藤健吾，尾川浩一，絹谷清剛，
小泉 潔，佐賀恒夫，阪原晴海，
佐々木雅之，宍戸文男，千田道雄，
玉木長良，中川原讓二，畑澤 順，
藤林康久，細野 眞，望月輝一，
山崎純一，渡邊 浩

監 事：小須田茂，桑原康雄

幹事長：立石宇貴秀

事務局：神田正子

欠席者

理 事：汲田伸一郎，松田博史

議 題

I. 審議事項

1. 選挙管理委員会の内規

小泉潔理事より資料 1 に従い説明があった。
小須田茂監事より理事 25 名は多く、役職は存在するかの質問があった。宍戸文男理事より理事長の決選投票では委任状を認めないと記載するよう意見があった。

2. 分子イメージング戦略会議による製造施設認証と撮像施設認証

千田道雄理事より資料 2 に従い説明があり、
玉木長良理事より MET 専用合成装置の認証に関する経緯につき説明があった。

3. 春季大会の運営

井上登美夫理事長より、資料 3 に従い説明があった。細野眞理事より既存の脳 PET の部分にアミロイドの教育プログラムを盛り込む、PET 施設認定セミナーの追加について説明があった。小須田茂監事より医療安全、医療倫理に関するプログラムにつき質問があった。千田道雄理事より既存のプログラムで医療安全に関するものが存在するので各講師に強調してもらうのがよいとの指摘があった。小泉潔理事より MRI の安全性に関する質問があった。

4. 平成 24 年度事業計画

小泉潔理事より資料 4 に従い説明があった。

5. 平成 24 年度収支予算案

阪原晴海理事より資料 5 に従い説明があった。

6. その他

① 委員会名の変更

（倫理審査委員会→利益相反審査委員会）

井上登美夫理事長より委員会名の変更（倫理審査委員会→利益相反審査委員会）の説明があり、了承された。

② 公益法人化

小須田茂監事より公益法人化についての質問があった。神田正子事務局長より一般社団法人と比較し寄附する側への税負担が軽減される利点があり、寄附を集めやすいとの意見が出た。桑原康雄理事より公益法人では監査が厳しいとの指摘があった。畑澤順理事より法人化による学会の変化を会員にも広くお伝えして審議すべき事項であると意見が出た。

③ 核医学会総会と技術学会との同時開催

玉木長良理事より日本核医学会と日本核

医学技術学会との総会の同時開催につき、今後の運営について再確認するよう意見が出た。

④ 科研費応募方針に関して

絹谷清剛理事より科研費応募方針につき説明があり、ANM 誌の open access 化、提出用計画調書の記載につき方向性が確認され了承された。

II. 報告事項

1. 第 52 回学術総会状況報告

玉木長良会長より第 52 回学術総会状況につき報告があった（資料なし）。

2. 第 53 回学術総会準備状況報告

桑原康雄理事より資料 16 に従い報告があった。

3. 第 54 回学術総会準備状況報告

畑澤順理事より、ポスター原案の提示があった。

4. 第 55 回学術総会準備状況報告

小泉潔理事より 2015 年 11 月の第一週または第二週の木金土を予定していると報告があった。

5. 第 13 回春季大会状況報告

井上登美夫理事長より資料 3 に従い報告があった。

6. 第 4 回社員総会（評議員会）の議事

井上登美夫理事長より資料 6 に従い報告があった。

7. 平成 23 年度事業報告

小泉潔理事より資料 4 に従い報告があった。

8. 平成 23 年度収支決算報告

阪原晴海理事より資料 5 に従い報告があった。

9. 委員会報告

1) 編集委員会

絹谷清剛理事より資料 7 に従い、平成 25 年度から 5 ヶ年の科研費（国際情報発信強化）申請に伴い、以下の事業内容変更の提案があった。総会抄録はオンライン化、プロ

グラムは冊子化、会費は現状維持、会告はニュースレターとして冊子化する。ANM は当初冊子体を廃止し、日本学術振興会の求めるオープンアクセス化を目指すこととする。以上の方向性が承認された。

ANM 査読者への恩恵として専門医制度との連携につき教育・専門医審査委員会で諮っていただくこととした。藤林康久理事より抄録をオンライン化するならば、USB を会員に配布するなどサービスを盛り込んではどうかという意見が出た。畑澤理事より ANM 誌の掲載論文数を増やし救済論文を増やせないか意見が出た。

2) 教育・専門医審査委員会

宍戸文男理事より ANM 査読者のための専門医制度との連携、核医学教育病院認定につき報告があった（資料なし）。

3) PET 核医学委員会

細野眞理事より資料 8 に従い報告があった。

4) 健保委員会

伊藤健吾理事より資料 9 に従い報告があった。FDG 合成装置について効能・効果に認知症を追加するため先進医療を申請する準備を進めているが、厚生労働省との事前相談に引き続き、PMDA とともに相談していると報告があった。

5) 広報委員会

尾川浩一理事より資料 10 に従い報告があった。

6) リスクマネジメント委員会

中川原讓二理事より資料 11 に従い報告があった。

7) 放射線防護委員会

① PET 用サイクロトロンに関するクリアランスおよび放射化物質の取り扱いに関する小委員会

千田道雄理事より口頭で報告があった。

8) 倫理検討委員会

望月輝一理事よりとくに活動なしとの報告

があった。

- 9) 学会賞選考委員会
玉木長良理事より口頭で報告があった。
- 10) 核医学認定薬剤師に関する検討委員会
藤林康久理事より活動休止の報告があった。
- 11) 将来計画委員会
佐々木雅之理事より特記事項なしと報告があった。
- 12) 分子イメージング戦略会議
千田道雄理事より資料2に従い報告があった。学会期間中ブースを出展との報告があった。
- 13) 経営戦略委員会
阪原晴海理事より賛助会員（回覧資料）につき説明があった。
- 14) 小児核医学検査適正施行検討委員会
小泉潔理事より資料18に従い報告があった。
- 15) 内用療法戦略会議
絹谷清剛理事より口頭で診療報酬につき報告があった。
- 16) 早期探索5拠点PET連絡協議会
畑澤順理事より次回連絡協議会開催の報告があった。
10. ワーキンググループ
佐賀恒夫理事より特記事項なしと報告があった。
11. 分科会活動
 - 1) 腫瘍・免疫核医学研究会
絹谷清剛理事より研究会のご案内があった。
 - 2) 日本脳神経核医学研究会
中川原譲二理事より研究会のご案内があった。
 - 3) 日本心臓核医学会
山崎純一理事より2013年6月28日、29日開催予定のご案内があった。
 - 4) 呼吸器核医学研究会
畑澤順理事より研究会のご案内があった。
 - 5) PET核医学分科会
細野真理事より資料17に従い報告があった。
12. 国外学会等連携
 - 1) 世界核医学会
玉木長良理事より今回はオーストラリアで開催がほぼ決定との報告があった。
 - 2) 米国核医学会
玉木長良理事よりSNMMI会長を招聘しこれからも関係を深めたいと報告があった。
 - 3) アジアオセアニア核医学会
(ARCCNM 兼務)
井上登美夫理事長より韓国で開催時に今回は日本で開催予定の報告を行うとのこと。畑澤順理事より大阪総会開催時にARCCNMを同時開催する可能性があるとの報告があった。
 - 4) 日韓中核医学会
13. 理事長活動報告
井上登美夫理事長より資料15に従い報告があった。
14. その他
 - ・核医学専門技師認定機構
小泉潔理事より資料12に従い報告があった。
 - ・日本医療安全機構
井上登美夫理事長より資料13に従い報告があった。